

「豊かで持続可能な社会」実現に向け セブン&アイグループ横断で イノベーションに挑む

セブン&アイ・ホールディングス
サステナビリティ推進部オフィサー

江上貴司
えがみ たかし



社会的価値と経済的価値の両立は、今や企業にとつての必須課題である。2015年に採択された気候変動問題に関する枠組み「パリ協定」では、産業革命前からの平均気温の上昇を2度未満に抑えるという国際的な目標が合意された。これを受け企業は、環境対策について長期ビジョンを打ち出し、実行することが必要になっている。

こうした動きが活発化するなか、当グループでは2014年に国内外の社会課題のなかから、自社の業務と親和性が高く重点的に取り組むべき5つの課題を特定している。その後、2015年に国連で採択されたSDGs（持続可能な開発目標）の17のゴールとの関連性を整理し、社会課題解決の取り組みを推進してきた。これを踏まえて現状急務である環境対策に焦点を合わせ、策定したのが201

9年5月に発表した環境宣言『GREEN CHALLENGE 2050』である。

環境宣言

『GREEN CHALLENGE 2050』

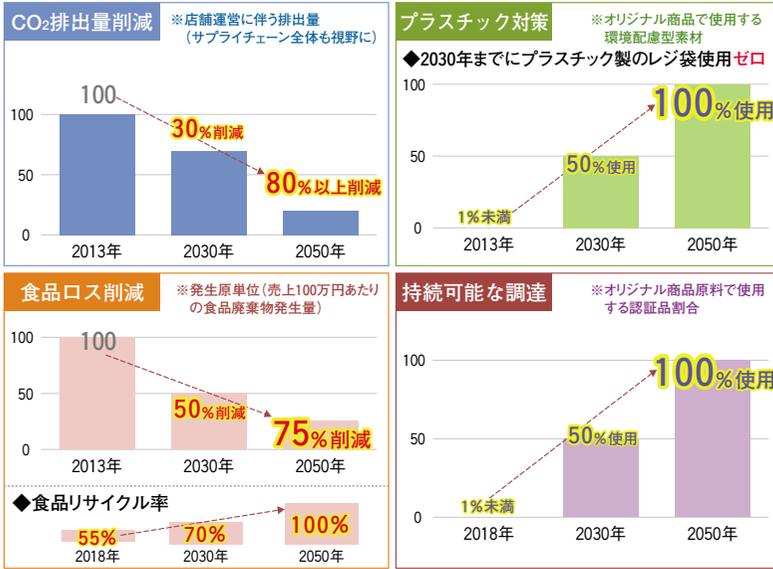
同宣言では長期的な視点でテーマの特定と目標の策定に着手した。当グループの事業活動によって生じる環境負荷のなかでも特に社会的影響が大きい「CO₂排出量削減」「プラスチック対策」「食品ロス・食品リサイクル対策」「持続可能な調達」の4つの課題を特定。2030年および2050年の具体的な数値目標を掲げた。この目標は国内約2万4000店の店舗ネットワークとサプライチェーン全体で推進し、グループの全従業員が一人丸となって達成に向けて取り組む高い目標である。

この環境宣言の目標は、イノベーションなくして達成することは難しい。そこで、それぞれの課題に関するグループ横断組織「環境イノベーションチーム」を立ち上げた。チームリーダーには、グループ各社の役員クラス、その道のプロフェッショナルな人材を配置した。各チームが業界をリードすべく省エネ・再エネ（再生可能エネルギー）の活用、レジ袋削減や商品容器の改良、食品廃棄物の発生抑制、持続可能性が担保された食品原材料の調達に取り組んでいる。具体的な例を紹介していきたい。

— CO₂排出量削減対策

神奈川県内のセブンイレブン10店舗において、店舗運営にかかる電力を100%再エネで調達する実証実験を2019年9月から開始した。また、物流における環境負荷低減

図表 セブン&アイグループの環境宣言



GREEN CHALLENGE 2050

私たちの挑戦で、未来を変えよう。



ペットボトル自動回収機

これらの取り組みは私たちが
では進まない。自治体との連

サステナブル社会の
実現に向けて

ただける品ぞろえを実現しなが
ら、認証商材への取り組み等、
持続可能性が担保された原材料
の利用拡大に努めている。

の取り組みでは、配送用E.V(電気自動車)ト
ラックを試験導入している。
—プラスチック対策
セブン&アイグループの店頭で回収したペ
ットボトルを原材料として、飲料用ペットボ
トルに再生。そのボトルを用いた商品を再び
グループの店舗で販売する「完全循環型ペッ
トボトル」を実現した。
—食品ロス・食品リサイクル対策
発生抑制を第一優先として、消費期限延長

を実現する長鮮度化商品の開発や、販売期限
の迫った商品へのポイント付与などお客様と
ともに進める食品ロス対策の導入などに取り
組んでいる。抑制に努めたうえで発生してし
まった廃棄物は、堆肥化(循環型農業・飼料
化など)食品リサイクルを生産者の皆様ととも
に推進している。
—持続可能な調達の取り組み
お客様に安全・安心で環境にも配慮した商
品の提供を目指している。お客様に喜んでい

携や、先進企業とともに新しい技術に取り組
むことが不可欠だと考えている。前述の店舗
運営に必要な電力を再エネ100%で賄う実
証実験は、神奈川県と締結した「SDGs推
進に係る連携と協力に関する協定」を通じて
実現した。実証実験を行う店舗では、発電効率
を大幅に高めた太陽光パネルで発電した電力
の一部をE.Vのリユースバッテリーを活用し
たオリジナル蓄電池に貯める。これを夜間や
災害時に使用することで、自家発電による店
舗運営を行う。発電分以外の電力調達につい
ては、太陽光発電のFIT(固定価格買取制
度)の期間が終了した「卒FIT」由来の電
力の供給を受けることにより、実質再エネ比
率100%での店舗運営を実現させた。新し
い技術や仕組みを組み合わせたことにより実
現したオープンイノベーションの事例である。
これらの取り組みはほんの一例である。サ
ステナブルな社会を築くためには、社会全体
で取り組んでいく必要がある。われわれが環
境宣言を発表したことで未知の技術や組み
合わせを持つ企業や、店舗に足を運んでいただ
いているお客様に活動の趣旨をご理解いただき、
取り組みが波及していくことを期待している。
セブン&アイグループは、社是に掲げる
「信頼と誠実」を大切にしてきた。今後も「信
頼と誠実」の精神のもと、お客様に寄り添い、
なくてはならない企業として選んでいただ
けるように努力し、成長していきたいと考えて
いる。そのためにも、ステークホルダーの皆
様とともに、時代の変化に対応し、未来世代
に豊かな生活や地球環境を届けていくための
挑戦を続けていく。